

新図書館等複合施設の整備状況と知の拠点としての新図書館サービス検討委員会等について

1. 免震装置の変更について

(1) 経緯

平成27年6月下旬	免震装置の変更についての検討を開始
平成27年9月中旬	中間報告：「ブリヂストン社製免震装置が安全性能を満たし、かつ、最も原設計（梁や柱等）への影響は少ない」
平成27年11月上旬	免震装置の組み合わせを一部変更 ⇒免震装置69基のうち1基をオイレス工業社製に変更
平成27年11月19日	性能評価機関（日本ERI株）に構造性能の評価を申請
平成27年12月15日	性能評価機関から「評価基準に適合」との評価を受ける
平成27年12月22日	国土交通省に建物の構造に係る大臣認定を申請
平成28年1月22日	国土交通省から建物の構造に係る大臣認定を受ける
平成28年1月29日	高知市に計画変更を通知
平成28年2月26日	高知市の計画変更の審査が完了

(2) 設計変更内容

① 免震装置

<原設計>

高減衰ゴム系積層ゴム（東洋ゴム G=0.35）：72 基

オイルダンパー（油の粘性を利用して地震などの振動をやわらげる装置）：8 基



<変更後>

高減衰ゴム系積層ゴム（ブリヂストン社製 G=0.39）：68 基

鉛プラグ入り積層ゴム（オイレス工業社製）：1 基

転がり支承（任意の方向に動ける装置）：3 基

オイルダンパー（油の粘性を利用して地震などの振動をやわらげる装置）：8 基

② 免震装置の変更に伴う影響箇所

- ・免震層の床の鉄筋を補強（12箇所）
- ・免震層の天井の鉄筋を補強（4箇所）
- ・M5階（貴重書庫のあるフロア）の柱（1本）の鉄骨の厚みを増加（19→25 c m）

2. 今後のスケジュール（予定）について

平成28年4月	：建築主体工事の再開
5月	：設備工事の再開
8月	：複合施設に免震装置を設置
平成29年12月	：竣工
平成30年夏頃	：新図書館等複合施設の開館

3. 補償について

- ・昨年8月以降、工事関係者とともに東洋ゴム工業（株）と話し合いを行い、補償の範囲や支払い方法などを定めた合意書を締結。

<合意書の概要>

(1) 主な合意内容

- ①東洋ゴム工業（株）社製以外の免震装置に変更する。
- ②以下の費用や損害金について、協議のうえ東洋ゴムが負担する。
 - ・免震装置の変更に伴い生じる工事及び設計に係る追加費用
 - ・免震装置の納期遅延等に起因して発生する直接的及び間接的な損害も含め、生じた損害
- ③費用及び損害金は、各々が東洋ゴムに請求し、東洋ゴムが支払う。

(2) 当事者

高知県、高知市、工事関係者（監理JV、建築JV、設備JV）、東洋ゴム工業（株）、東洋ゴム化工品（株）

(3) 締結日

平成28年1月20日

<今後の対応>

- ・現在、補償項目の洗い出しや概算額の算出など補償の話し合いに向けた準備を進めている。
- ・今後も弁護士とも十分に相談しながら、県民の負担とならないよう、補償を求めていく。

4. 新図書館の名称について

- ・平成27年9月に新図書館等複合施設の愛称が「オーテピア」に決定。
- ・新図書館は、県立・市民の両図書館が共同して運営するため、新図書館の対外的な一般名称を、以下のとおりとする。

	正式名称 (条例名称、組織名称)	一般名称 (広報、サイン、電話など)
新図書館	高知県立図書館 高知市立市民図書館	オーテピア高知図書館

※県外利用者からの問合せ等への対応や、県外の図書館と図書資料の相互貸借などを行うため、「高知」を付けることとする。

5. 知の拠点としての新図書館サービス検討委員会について

(1) 開催状況

会議	内容
検討委員会 (2回開催)	○第1回:平成27年10月23日 ・「新図書館等複合施設整備基本計画」等について説明 ・図書館の持つ可能性や図書館に求められる役割について講演 ・質疑応答、意見交換
	○第2回:平成27年11月30日 ・新図書館が取り組む主なサービスの概要等について説明 ・分科会の進め方について説明 ・質疑応答、意見交換
分 科 会	①図書館サービス(分科会総括) ・各委員を個別訪問し、分科会の開催概要を説明等 (平成28年2月)
	②ビジネス・農業・産業支援サービス(4回開催) ○第1回:平成27年12月7日 ・事務局説明(目的・スケジュール等) ・県立図書館の見学 ・講演:「公共図書館におけるビジネス支援 ー秋田県立図書館の事例をとおしてー」 【講師】:山崎 博樹 氏(秋田県立図書館 副館長) ・検討内容の協議及び意見交換
	○第2回:平成28年1月20日(※商工業分野での開催) ・レファレンスへの対応と今後に向けた課題整理 ・前回分科会を踏まえての図書館との連携についての検討 ・さらなる連携の可能性についての検討
	○第3回:平成28年2月19日 ・講演:「鳥取県立図書館のビジネス支援の実際」 【講師】:小林 隆志 氏(鳥取県立図書館 支援協力課長) ・前回分科会を踏まえての図書館との連携についての検討 ・さらなる連携の可能性についての検討
	○第4回:平成28年2月22日(※農業分野での開催) ・県市の農業関係部署の業務説明 ・先進図書館での農業支援の取組について説明 ・関係機関と図書館との連携のあり方について意見交換
	③健康・安心・防災情報サービス(1回開催) ○第1回:平成28年1月22日(※医療、保健、福祉分野での開催) ・事務局説明(目的・スケジュール等) ・県立図書館の見学 ・講演:「高知県における保健医療政策と新図書館」 【講師】:塚田 薫代 氏(静岡県立こども病院医学図書室) ・検討内容の協議及び意見交換
④中心市街地活性化・周辺施設連携(1回開催) ○第1回:平成28年1月25日 ・事務局説明(目的・スケジュール等) ・講演:「地域のコミュニティの核となる図書館」 【講師】:関 幸子 氏(株)ローカルファースト研究所 代表取締役 ・検討内容の協議及び意見交換	

※レファレンス(レファレンス・サービス)…図書館資料による調査・研究の支援サービス

(2) 主な意見と今後の取組等の検討

○図書館と専門機関との具体的な連携について

⇒直ぐにできることから、まずは取り組む

- ・リクエストによる専門図書の購入
 - ・出前図書館の実施
 - ・図書の選書への協力
 - ・ブックリスト等の作成
- 等

○課題解決の支援に向けた連携について

- (1) 専門機関が主催するセミナーやイベントに司書が参加
⇒・専門的知識の習得や最新情報の入手等
・図書館サービスの周知、利用促進
- (2) 起業を目指す人のビジネスプラン作成のサポートチームへの司書の参画
- (3) 専門機関と図書館が一つのチームとして事業者を支援する体制づくり

○図書館の利活用について

- (1) 専門機関の様々な事業のPR等の場として
⇒企画展示や講座、相談会等の実施
- (2) 実証フィールドとして、製品モニター調査や消費者ニーズ調査等の実施
- (3) 様々な利活用のための空間が必要

○レファレンスへの対応について

⇒早い段階から司書が支援に関わることの必要性の共有

- (1) 司書のレファレンス力の向上及び課題の整理
- (2) レファレンス・ツールの相互提供及び充実

(3) 今後のスケジュール (予定)

会議	時期	内容
検討委員会	8月 11月	・分科会での検討を踏まえたサービスや取組の検討 ・「新図書館サービス計画」の内容の確認等
分科会	8月までに3回程度開催	・「新図書館等複合施設整備基本計画」の再点検、再確認 ・各分科会での検討内容の確認、とりまとめ 等
①図書館サービス (分科会総括)		・図書館と専門機関・周辺施設等との連携したサービスや取組等についての検討 ⇒・実施に向けたルールや仕組みづくり ・更なる連携により可能な取組等
②ビジネス・農業・産業支援サービス		・関係、連携先とのネットワークづくり 等
③健康・安心・防災情報サービス		
④中心市街地活性化・周辺施設連携		

※分科会の委員以外（関係機関、事業者、利用者等）からも意見等を伺い、分科会での検討の際に反映させていく。